



4月27日(土)に第19回通常総会が行われました

<NPO 法人在宅ケアを支えあう会 2024 年度 事業報告>

1. 事業内容

1) 研修事業 2024 年度

- ・介護職員等によるたんの吸引・胃瘻等実施（特定の者に対する）
東京都 3 名、みっれ 7 名、 計 10 名（-3）
- ・府中看護専門学校 在宅看護論授業 6 月 村山担当
- ・府中看護専門学校 在宅看護実習受け入れ 5 月～1 月 3クール
- ・重度障がい者研修 わの会 5 月、7 月、11 月、2 月

2) 研究発表等

今年度は発表はなし。

3) 職員研修

- ・難病看護 WEB セミナー（神経病院）個人で受講
- ・在宅看護指導士の資格取得 村山
- ・精神障がい者の在宅看護セミナーWEB 開催 3 月 日本訪問看護財団 土屋
- ・明日からの訪問看護に活かせるスキンケア最前線 3/15 日本訪問看護財団 湯原

4) 訪問看護事業

<訪問実績> 延べ人数 2024 年度 4 月～3 月まで

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
総数	327	321	329	349	337	297	369	348	329	293	257	272	3829
介護	139	146	142	146	140	137	177	158	141	136	124	124	1435

令和 1 年 4119 人、令和 2 年 4283、令和 3 年 4576、令和 4 年度 4311、令和 5 年度 3942

<訪問活動> 3 月末 （前年度と比較）

現在の利用者状況の総数は 48 名（50） 呼吸器使用 6 名（7）、吸引器使用者は 7 名（10）、HOT は 1 名（5）、胃ろうは 4 名（6）、尿留置カテーテル 1 名（3）であり、医療依存度の高い利用者は変わらず多い。認知症の一人暮らしや高齢の二人暮らしの依頼は増えている。12 月から 1 月にかけて医療依存度が高く頻回に訪問していた利用者が 2 名亡くなり、1 月から訪問数が減少した。

<雇用状況> 3 月末

- ・現在常勤は 3 名。

- ・非常勤の看護師は現在5名。
- ・作業療法士（非常勤）現在は1名。臨時で勤務。
- ・事務職員（非常勤）1名。 全職員は10名。

5) 本年度会員状況

現在 10 名の会員 会員は新規なし。

2. 事業成果と次年度に向けて

1) 研修事業

- ・ 出前コンサートは現在休止中。出前で何かできるのか、どのようにしたらできるか検討していく。
- ・ ヘルパーへの吸引指導・胃ろう指導の依頼は減っている。しかしヘルパーの変更もあり、継続して指導していく。
- ・ 一昨年度から研修担当者を決め（土屋）、2024 年度は IMI 社の呼吸器が変更になることを踏まえて、呼吸器事業者に来てもらい呼吸器の研修を予定していた。しかし、当事務所の利用者さんの呼吸器変更が進まず、実施出来ていない。スタッフからマッサージについての研修希望の意見が出たので、2025 年度早々に企画・実施予定。

2) 訪問看護事業

① 災害時の対応

カンファレンスで災害時の対策を話し合い、担当者（湯原）を決めて整理した。年に2回6月と12月見直しを行なうことにし計画的に行なっている。

② 新型コロナウイルス・インフルエンザウイルスの対策

- ・ マスクや手袋着用を義務化し感染対策に努めた。コロナやインフルエンザの流行で休むスタッフもいたが協力して対応できた。感染症委員会と協力して、今後もマスクや手袋の対応に努めたい。

③ 人材不足と育成について

- ・ 12 月から 1 月にかけて、医療依存度が高く頻回に訪問していた利用者が立て続けに 2 名亡くなり、訪問回数は減ってしまった。空いた時間で、各委員会の仕事をしてもらうことが出来た。今後も空いた時間に事務所の移転や常勤のスタッフの雇用育成、ケアの共有を行っていききたい。
- ・ カンファレンスなどである程度、共有化はできているが不十分さを感じる。職員の気持ちへの理解や、利用者様の内面的な問題などを深めるまでに至っていない。次年度は事例検討の仕方などを学び深めていきたい。
- ・ OT との連携により利用者の生活の質を向上できている。継続していく。

④ 経営状況について

7 月、12 月の賞与と 3 月の期末手当は常勤に渡せた。非常勤に今年度も 12 月に賞与を出せた。3 月は手当金を出した。

⑤ 訪問看護の質の向上

- ・ 興味がある研修への参加を促す

研修への参加が今年度は少しあったがまだ少ない。年数が経過した場合のやりがいなどを考えた研修に参加してもらう。

・ 役割分担委員

非常勤も含めて役割分担を決め、出来るだけ常務時間を活用して行った。それぞれ担当した役割の内容は、カンファレンスを使って勉強会という形でスタッフと情報共有出来ている。

業務継続計画（小倉、村山）、感染症対策の強化（菊地、橋本）、虐待防止の推進（大江、白川）、セクハラ対策強化（湯原、土屋）

⑥ コミュニケーション

昨年も全スタッフに面接事前シートを書いてもらい、殿岡と小倉とで面接した。今年は2月に行った。スタッフとのコミュニケーションにもなるため、今後も継続していく。

⑦ 広報活動

HP に財務状況の掲示や HP について、ブログは結構読まれている。このことで法人・ステーションの理解につながり PR ができている。全員で分担して書くことになっているが滞っている傾向がある。今後早めにブログが書けるように調整していく。去年はできなかったが今年度こそは当ステーションで行っている看護の紹介や今のトピックスなども紹介できるように考えたい。担当者を決めため今後も継続して行う。

ホームページの業者の変更をして使いやすいように変えていく。（5月から）

3) その他

① 今後の法人の方向性

- ・NPO としての活動は充分できず、会員も増やすことができない。
- ・介護保険や医療保険の範囲内での訪問では不十分である。達成できない利用者様の想いに寄りそうには何が必要なのかできる範囲内での活動を増やしていけないか検討していく（制度だけにとらわれず自費の支援も導入できるか）

★満足度調査を4月に行ない、利用者の想いを把握していく。集計中（4月末）

★総会後に制度にとらわれず行なっているグレースケア機構さんから学び今後に生かす。

★今後の当法人の課題を明確にし、助成金などを活用して形にしていく。

- ・訪問看護はととステーションの所長の交代。小倉典子から村山真由美へ6月からの予定。

（小倉典子：5月で定年退職、再雇用6月から）給料は理事長手当も含み月に20万円）

② 事務所の引越し

- ・事務所が狭く、面接できにくい、看護学生の場所の確保もできないなどの理由から事務所の引越しを計画して現在進めている（時期は未定）

③ 理事の互選

理事長と所長の交代を予定している。現在は下記の理事

理事長：殿岡登代、理事：小倉典子、佐々木公一（節子）、山本君子、下西潤子 5名

監事：深水早苗 1名

今年度6月から理事長:小倉典子へ。理事と監事は変わらない。来年度任期が終了となる。

令和 6 年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 在宅ケアを支えあう会

（単位：円）

科 目		金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1 受取会費			10,000
正会員受取会費		10,000	
2 受取助成金等			529,000
助成金関係		529,000	
3 事業収益			35,646,926
訪問看護事業		35,402,666	
在宅ケア研修事業		244,260	
4 その他の収益			9,716
受取利息		9,716	
経 常 収 益 計			36,195,642
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			
(1) 人件費			29,264,369
給料手当		25,804,489	
法定福利費		2,648,088	
福利厚生費		811,792	
(2) その他経費			4,321,161
地代家賃		921,810	
旅費交通費		451,516	
通信費		399,374	
水道光熱費		157,644	
保険料		102,167	
その他		2,288,650	
事業費計			33,585,530
2 管理費			
(1) 人件費			450,469
給料手当		397,211	
法定福利費		40,762	
福利厚生費		12,496	
(2) その他経費			66,518
地代家賃		14,190	
租税公課		1,779	
通信費		6,148	
その他		44,401	
管理費計			516,987
経 常 費 用 計			34,102,517
当 期 経 常 増 減 額	【A】－【B】	・・・①	2,093,125
【C】 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計			0
当 期 経 常 外 増 減 額	【C】－【D】	・・・②	0
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額	①＋②	・・・③	2,093,125
法人税、住民税及び事業税	・・・④		435,500
前期繰越正味財産額	・・・⑤		18,414,917
次 期 繰 越 正 味 財 産 額	③－④＋⑤		20,072,542

令和 6 年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 在宅ケアを支えあう会

(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		23,157,014
現金	94,252	
普通預金	18,004,604	
前払費用	119,500	
未収入金	4,938,658	
流動資産合計・・・①		23,157,014
2 固定資産		80,001
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	1	
(2) 投資その他の資産		
敷金	70,000	
差入保証金	10,000	
固定資産合計・・・②		80,001
【A】 資 産 合 計 ①+②		23,237,015
【B-1】 負 債 の 部		
1 流動負債		3,164,473
未払金	510,792	
未払費用	1,921,120	
未払法人税等	435,500	
預り金	297,061	
流動負債合計・・・③		3,164,473
2 固定負債		0
固定負債合計・・・④		0
負 債 合 計 ③		3,164,473
【B-2】 正 味 財 産 の 部		20,072,542
前期繰越正味財産額	18,414,917	
当期正味財産増減額	1,657,625	
正 味 財 産 合 計		20,072,542
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】		23,237,015

「制度より生活をみよう！在宅ケアの実践」講師：柳本 文貴 氏

【プロフィール】NPO 法人グレースケア機構 代表 柳本 文貴（やぎもと ふみたか）

1970 年新潟市生まれ。大阪大学・佛教大学・大阪シナリオ学校演芸科卒。在学中から障がい当事者運動に関わり株式会社パソナフォスターでヘルパー養成や派遣を行う。老人保健施設、認知症グループホームを経て、2008 年グレースケアを設立。長時間・泊まりケア、娯楽ケア、医療的ケアなど自費を中心に、介護保険や障がいのサービス、民家デイ・シェア、研修・相談事業などに取り組む。社会福祉士、介護福祉士、保育士、ケアマネジャー。

もっとシンプルに、年齢・障がいを問わず、困っている人の役に立つ取り組みを！

をモットーに、自費訪問での様々な活動のリアルなお話を聞くことができました。たくさんの質問にも答えていただき、盛況のうちに終了いたしました。

出来ない理由はいくらでも出てきます。そして暮らしやケアをあきらめてしまうことも多くあります。今何が必要なのか。自費のサービスとなるとさらに負担が増えてしまうのかとも思い、どのように導入できるのか考えさせられました。ケアの担い手も生き活きと心豊かに時間を過ごすことができればとてもいいと思いました。

高齢者のための熱中症対策

熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です

部屋の中でも注意が必要です エアコンを上手に使いましょう

熱中症は、室内や夜間でも多く発生しています。節電にも配慮して適切にエアコンを使いましょう。

また、エアコン使用中もこまめに換気 をしましょう。

- こまめにフィルターのお手入れをする
2週間に1回を目安にしましょう
- 適切な室温設定
- すだれやカーテンを活用し直射日光を遮る
- 換気をして屋外の涼しい空気を入れる
- 窓とドアなど2カ所を開ける
- 温度・湿度指数を確認する
- 暑いからエアコンつけてね！
- 扇風機や換気扇を併用する
長時間、風が体に直接あたらないように注意しましょう
- クールビズを取り入れる
- 複数の使用を避け、一部屋に集まるなど工夫する

さらに、気をつけるべきポイント

のどが渇いていなくても こまめに水分・塩分を補給しましょう

1日あたり 1.2L(1.2リットル)を目安に

コップ約6杯

- 1時間ごとにコップ1杯
- 入浴前後や起床後もまず水分・塩分補給を

※水分や塩分の摂取量はかかりつけ医の指示に従いましょう。

！高齢者は特に注意が必要です

1 体内の水分が不足しがちです
高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

2 暑さに対する感覚機能が低下しています
加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

3 暑さに対する体の調節機能が低下します
高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

※心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの方は、かかりつけの医師にご相談下さい。

●東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和3年夏)
※計39人(連続2日)のうち

約8割は65歳以上の高齢者

屋内での死亡者のうち 約9割は エアコンを使用していなかった

体内の水分量
[体脂肪率・年齢・性別]より決定

小児 75%
成人 60%
高齢者 50%

その他の水分量

エアコン設置有無・使用状況別

エアコン有・使用有 10%
エアコン有・使用無 76%
エアコン有・使用有 6%

予防法ができていないかをチェックしましょう

- ☐ エアコン・扇風機を上手に使用している
- ☐ 部屋の温度を測っている
- ☐ 部屋の風通しを良くしている
- ☐ こまめに水分・塩分を補給している
- ☐ シャワーやタオルで体を冷やす
- ☐ 暑い時は無理をしない
- ☐ 涼しい服装をしている外出時は日傘、帽子
- ☐ 涼しい場所・施設を利用する
- ☐ 緊急時・困った時の連絡先を確認している

MEMO
緊急連絡先
00000000
00000000
00000000
00000000

環境省 熱中症予防情報サイトからの情報をチェック！▶▶ <https://www.wbgt.env.go.jp/>

環境省では、暑さ指数(WBGT)の情報提供を行っています。令和3年度より全国展開している熱中症警戒アラートおよび、暑さ指数のメール配信等をご活用ください。【熱中症警戒アラート】は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます▶▶

厚生労働省 経済産業省 環境省

2023年5月版